

協力者の方へ

●調査の目的

この調査は、みなさんに日本語で書かれたものを読んでもらいながら、その理解過程を母語で話してもらい、記録することが目的です。みなさんの読解能力を調べるものではありません。これは読解コーパス作成プロジェクト（リーダー：野田尚史）の一環として行われます。

●調査の前の準備

日本語で読みたいものや読む必要のあるものを選んでください。調査ではそれを読んでもらいます。読むものには日本語教科書などの日本語学習用教材は選ばないでください。読むものはできるだけ著作権フリーのものや、ウェブサイトで長期間閲覧できそうなものを選んでください。読むものを選ぶときにはデータ収集者に相談するようにしてください。

読むものはたとえば次のようなものから選んでください。

チラシ・パンフレット類、商品の説明書、掲示物メール、ウェブサイト
新聞、書籍、学術論文

読むものを選んだら、それをデータ収集者にメールなどで送るか、どのようなものを選んだかについてデータ収集者に知らせてください。また、読むものは調査の日に初めて読むことになるので、それまで読まないでください。

データ収集者から「調査協力承諾書」と「背景調査票」が事前に送られてきます。「調査協力承諾書」にはサインをし、「背景調査票」には必要な情報を記入しておいてください。

●調査の内容

自分で選んだ読むものを、普段読むときと同じように読んで、語句や文の意味をどのように理解したかを少しずつ母語で話してください。辞書やパソコンなども普段読むときと同じように使ってください。

理解した内容だけではなく、頭の中でどのようなことを考えながら読んでいるかを話してください。推測したこと、わからないことや判断に迷っていること、解釈の変更などをそのまま話してください。

データ収集者が書かれている内容について質問をしますので、それに答えてください。

調査中に話したことはすべて録音されます。

●調査の日に持ってくるもの

調査の日には次のようなものを持ってきてください。

普段使っている辞書やパソコンなど（ことばを調べたいときに使います）
サインをした「調査協力承諾書」必要な情報を記入した「背景調査票」

●調査実施責任者の連絡先
